

5カ国からの研修生を迎えて！

～「総合防災-強靱な社会を目指して」課題別研修～

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、コソボなど5カ国から6名の研修生が、六甲砂防事務所を来訪されました。

事務所内の講義では【六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組み】について説明を行い、現地視察では※森の世話人活動地と、令和5年3月完成の荒神山西砂防堰堤を案内し、六甲砂防事務所が取り組んでいる砂防事業について学んでもらいました。

概要

日時：令和7年1月22日（水）13：30～16：00
場所：六甲砂防事務所／森の世話人活動地、荒神山西砂防堰堤
主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）関西センター
参加者数：6名（コソボ、パキスタン、トルコ、ベトナム、イエメン 計5ヶ国）

※「森の世話人」とは
六甲山系グリーンベルト整備事業地において、森づくりを実施しようとするNPO、または市民団体、企業等をいいます。



六甲砂防事務所での講義の様子



質疑応答の様子



砂防堰堤視察の様子

【研修生との質疑応答】

Q：土石流の流れが砂防堰堤を迂回してしまう場合があるのではないかと？

A：堰堤設置位置の選定にあたっては、谷地形で確実に捕捉可能なサイトを選定しています。

Q：透過型堰堤の透過部分の鋼材は劣化するのではないかと？

A：長期にわたると腐食は進行します。設計時に腐食しるを考慮して鋼材の厚みを決定しています。

また、塗装の塗り替えなど適切にメンテナンスすることで、さらに長期間共用することは可能です。



森の世話人活動地視察の様子

【神戸新聞社から研修生へ取材がありました】

Q：今回の視察で学んだことを、どのように自国の事業に還元したいか？

A：自国の渓流で砂防堰堤が計画可能か調査予定があり、学んだことを応用したい。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>